

～ 第26回 イタリア・知識のサロン公開講座～

魅惑のSPAC新作野外劇『マダム・ボルジア』を楽しむための先行解説と文化講演

「ふじのくにせいかい演劇祭2019」にて駿府城公園で上演（5/2～5/5）

イタリア・ルネサンス期の歴史に刻み込まれた、ヨーロッパで誰もが知る名家ボルジア。その記憶が日本の戦国時代を透し、「ふじのくにせいかい演劇祭」で野外劇『マダム・ボルジア』としてよみがえります。公演に先立ち野外で演劇を観るおもしろさや作品の見どころ、さらにはローマ法王までも輩出したボルジア家の歴史を、二人のマエストロに大いに語って頂きます。



「撮影：新良太」

SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督
宮城聰(みやぎ・さとし)氏



静岡県立大学名誉教授
立田洋司(たつた・よじ)氏

《第1部 新たな野外劇『マダム・ボルジア』作品紹介：宮城聰氏》

今年で20年目を迎える演劇祭のフラッグシップ作品『マダム・ボルジア』。男たちの陰謀、嫉妬…渦巻く憎悪に翻弄されながらもしたたかに生きる女、ルクレツィア・ボルジア。ヴィクトル・ユゴーが描いた稀代の悪女を、宮城氏は戦国時代末期の日本に生み落とし、祝祭音楽が彩る歴史スペクタクルとして立ち上げます。上演に先立ち、演出の意図や見どころをお話し頂きます。

《第2部 ルネサンス期イタリアに実在したボルジア家の光と闇：立田洋司氏》

ルネサンス期のイタリア・ローマで、法王までも輩出した悪名高い名家ボルジア。君臨した期間は短かったにも拘らず突出した存在感で歴史に名を刻んだ一族と、その時代や社会背景を紐解き、解説して頂きます。

日時：平成31年3月9日(土) 18:15～20:15

会場：もくせい会館 富士ホール 静岡市葵区鷹匠3-6-1

参加費：一般1500円、会員1200円、大学生以下500円(定員:80名・要予約)

※第1部の講演に先立ち、宮城氏に「ふじのくにせいかい演劇祭」の上演ラインナップや見どころをご紹介します。

***** お問い合わせ・お申込み先 *****
イタリア・知識のサロン事務局(小長谷)
電話：080-3286-9472 mail：tempietto2063@gmail.com